

# 平成 28 年度 獨協埼玉中学校 自己評価シート

目指す学校像	豊かな感性、健康な心と体を育み、自ら考え判断できる生徒を育てる。
--------	----------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習習慣の定着による基礎学力の向上と教育内容の充実を図る。</li> <li>受け身の授業にとどまらず、アクティブラーニングを意識した授業を展開する。</li> <li>朝の読書週間を身に着け、図書館の利用を充実させる。</li> <li>携帯電話やスマートフォンに関する使用方法を徹底させる。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (3月8日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強マラソンや小テストへの取り組み姿勢をさらに充実させる。</li> <li>けじめのある規則正しい生活を心がけ、家庭学習時間を確保する。</li> <li>3年生の実力テストをより効果的なものにし、他学年でも同時に実力テストを実施するか検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月間的小テスト予定を事前に告知し、学習計画を立てさせる。</li> <li>スケジュールノートの利用を徹底させ、担任が定期的に確認する。</li> <li>授業で総復習を実施し、既習事項の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストの日程を教員間で調整し、1ヶ月の予定を生徒に配布する。</li> <li>SHR を利用して書き込む習慣を、家庭では学習時間の記入を定着させる。</li> <li>1月入試時期の休校を利用して各教科で復習課題を与え、授業で解説を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストの月間予定を作成し、生徒に伝えることができたか。</li> <li>スケジュールノートを有効に活用しているか。また担任は定期的に回収し、チェックしたか。</li> <li>総復習を意識した課題を作成し、課題を効果的に進めることができたか。また、解説を実施したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年ごとに、小テストの月間予定表を事前に配布して家庭学習の習慣を促した。</li> <li>担任が定期的にスケジュールノートを回収し、繰り返しチェックを実施している。</li> <li>英数国に関してはスタディーサプリの確認テスト(業者テスト)を実施し、3月中に弱点の強化を図ることができると考えている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールノートの使用に関しては、生徒によって効果的に利用することができないものもいるので、引き続き声掛けを続ける必要がある。</li> <li>スタディーサプリアプリを初めて実施するので、その効果、弱点の復習をきちんとやっているかなど、4月に新学年で確認する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年や各教科で調べ学習や自発的な探求学習、またそれらを利用したプレゼンテーションや発表をどの程度実施しているか把握し、更にその機会を増やす計画を立案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身が教科や行事の中で課題を設定し、さまざまな機会の中で自発的にプレゼンテーションやミーティング、ディスカッションを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習やプレゼンテーションの実態を把握し、教科ごとの連携を密にする。</li> <li>実験実習などでは、プリントなどを工夫して、自ら課題設定をする機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実態調査を行い、中学教員の中で情報を共有したか。</li> <li>様々な機会の中で、自発的に考え、問題意識を持って取り組むことができたか。</li> <li>問題意識を高め、課題を創造するための教材や資料を作り、配布できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員にアンケートを実施し、授業で特徴的な取り組みをしているか確認した。</li> <li>1年生の地理、2年生の国語表現、3年生は修学旅行、また各学年の総合学習などで調べ学習及び発表を実施した。</li> <li>各教科でプリントなどの教材に力を入れている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の教育では4技能の向上が求められ、とりわけ生徒たちの苦手な発表の機会を増やす必要がある。</li> <li>教科教育は勿論、総合学習や各種行事の中で生徒主導の話し合いやプレゼンテーションの機会を設けるべきである。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の図書館利用率が低下しているとの報告があったので、朝学習時の読書回数を確保し、読書習慣の定着を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習ではできる限り、読書の時間を確保する、</li> <li>静かに本を読む習慣と雰囲気を作る。</li> <li>図書館利用率を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストと読書の割合を事前に考慮し、生徒に伝える。</li> <li>図書館と学年が連携して、学齢に合った読書指導を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定表を作成配布したか。</li> <li>図書館司書の先生方と会合を持ち、読書推進のための方策を講じたか。</li> <li>図書館利用率は向上したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習の月間予定表を作成、配布した。</li> <li>司書の方々と会合を開いた。平成26年から28年までの図書貸出し数は3年連続で減少しており、中学生一人あたりの平均貸出し数は20.4、12.4、11.6と低下している。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語を通して物事を理解し、また自分の考えを構築して伝えるために、読書は必要不可欠である。図書館だけでなく、教員や家庭の協力、具体的には生徒同士で本について語る時間を持たせたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>数年来、携帯電話やスマートフォンに関するトラブルが後を絶たず、生活の乱れやいじめにつながるケースが少なくない。使用の方法や制限に関して徹底する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用規則を徹底させる。</li> <li>家庭での使用時間について話し合いを持つ。</li> <li>HRや道徳で使用方法についての詳細を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRや道徳の時間を利用して、使用規則の徹底を図り、いじめや迷惑行為について考えさせる。</li> <li>携帯電話教室を実施し、使用方法やマナーについて学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年集会や道徳の授業を通じて話し合い、考えさせる機会を作ったか。</li> <li>家庭の協力を得て、家庭内での使用制限を要請したか。</li> <li>新入生に対して携帯電話教室を実施したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1,2年生ではSNS関連のトラブルが起こるたびに学年集会やLHRで説諭し、考えさせる機会を持った。</li> <li>各学年ともに家庭では夜10時以降の使用を制限するよう、保護者に依頼した。</li> <li>新入生は4月に携帯マナー教室を実施した</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での使用制限は年度当初に依頼するだけで、家庭での実態を把握していないため、保護者から情報を得る。</li> <li>通学中の使用は禁止しているものの、多くの生徒が順守していない。生活部と協力して方策を検討する必要がある。</li> </ul>

学校関係者評価
実施日 平成29年4月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ、十分にスケジュールを立てる習慣が徹底していないので、家庭と連絡を取り合い、引き続き指導してほしい。</li> <li>新しい試みであり、どのような結果が出るか。また、中学3年生がどの程度弱点補強をできるのかを確認し、次年度につなげてもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内での細かな取り組みについて、保護者の知る機会が少ないので、もう少し機会を増やしてほしい。</li> <li>今後、社会で必要となる技能なので、是非充実させていただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学2年では学年によるピブリアバトル(おすすめ本のプレゼンテーションバトル)がさかんであり、家庭でも話題になっている。これからも続けてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭の間でも使用制限に関してはずれがあるので、保護者会、茶話会などで話題にしてほしい。</li> <li>家庭でも協力体制を整えていきたい。</li> </ul>